

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

耐雪梅花麗 (雪に耐えて梅花麗し)

新年の幕開けから早いもので 2 月も半ばです。立春を過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ厳しい寒さが続いています。風邪やインフルエンザにかからないように、十分な睡眠、手洗いやうがいの励行など自分の体調管理をしっかりと行いましょう。

来週の 21 日 (木) には、マラソン大会が実施されます。これまでの練習成果を十分に発揮し、自己ベストが出せるように頑張ってください。

さて、各地から梅開花の便りが届いていますが、今号では梅にちなんで、「耐雪梅花麗」(雪に耐えて梅花麗し) という言葉を紹介したいと思います。昨年の NHK 大河ドラマの主人公、西郷隆盛がイギリスに留学する甥の市来政直に贈った漢詩の一節です。梅の花は冬の厳しい雪や寒さに耐えた後に、春になって美しい花を咲かせ、かぐわしい香りを発するという意味です。これを人生に例えれば、人間も苦難や試練を耐えて乗り越えれば、大きく成長する事が出来ると解釈できます。甥っ子に向けて、困難に負けるなど背中を押した言葉です。

この言葉は、元プロ野球選手の黒田博樹投手が座右の銘にしていたことで有名になりました。黒田投手は、高校の授業でこの言葉に感銘を受けて以来、座右の銘としたそうです。実は、黒田選手は野球の名門上宮高校の控え投手で、公式戦で一球も投げられずにいました。しかし、大学進学後、頭角を表し卒業後は広島カープにドラフト 2 位で入団し、努力を続けることでエースへと昇格していきます。その後、アメリカに渡り、メジャーリーグのドジャースやヤンキースで活躍し、再びカープに復帰すると、現役最後の 2016 年に日米通算 200 勝を達成しました。そして、その年カープの 25 年ぶりのリーグ優勝に貢献し有終の美を飾りました。黒田投手は、常に志と努力の大切さを忘れずに生きるためにこの言葉を座右の銘として歩んできました。決して、エリートとは言えない黒田投手の人生そのものを表す言葉ではないでしょうか。

人生で壁にぶち当たっても、目をそらさず努力を続けると、必ず得るものがあります。そのすべてが肥やしとなし、いずれ花を咲かせる時がくるでしょう。私たち自身も美しい花を咲かせたいものです。今度、梅の花を見たら、この言葉を思い出してください。

◎言葉の大切さ

私たちは、日頃いろんな人と会話を交わしています。真剣な会話もあれば楽しく心が和らぐ会話もあります。そして、それらの会話の中のほんのちょっとした一言で、暗くて嫌な気持ちになったり、逆に勇気づけられたりすることがあります。皆さんも友だち同士の会話の中で、このような経験はありませんか。ここで高橋系吾さんの「その一言」という詩を紹介します。短い詩の中に、いかに一言の言葉が大切なのかよく表わされています。

「その一言」

その一言で励まされ その一言で夢をもち
その一言で腹がたち その一言でがっかりし その一言で泣かされる
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力をもつ ほんのちよっとの一言で